平成26年度予算見積調書

課室名:土地水政策課

担当名: 総務・国土調査担当

内線: 2186 (単位:千円)

番号		事業名	会計	款	項	目	説明事業	
B22	地籍調査事業費		一般会計	総務費	企画費	土地対策費	国土調査費	
事 業			国土調査法第9条の2第1項	·	単	略項目		
事業期間	法 令 国土調査促進特別措置法第3条1項				分	野施策	010405 安全	な水の安定的な供給

1 事業概要

現状の登記簿や公図の多くは、明治初期の測量を受け継いだもので、正確さに欠けているものも多い。

そこで、地籍調査(土地の所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積の測量)を実施し、地籍の明確化を図ることにより、境界トラブルの未然防止、公共事業・災害復旧の円滑化、課税の適正化等に資するものである。また、水源地域における地籍調査を推進し、水源地域保全条例と連携しながら水源地域の保全を図る。

(1) 地籍調査事業

116,115千円

(2) 水源林重点対策地籍調査事業

42,120千円

(3) 連絡調整等事務費

1,360千円

(4)(公社)全国国土調査協会等負担金

88千円

2 事業主体及び負担区分

- (1)地籍調査事業(国1/2・県1/4)市町村1/4
- (2)水源林重点対策(国1/2・県1/4)市町村1/4
- (3)連絡調整等事務費(国1/2 県1/2)
- (4)(公社)全国国土調査協会等負担金(県10/10)
- 3 地方財政措置の状況
- (1)地籍調査事業及び(2)水源林重点対策地籍調査 事業の地方負担額の8割については、特別交付税措置あ り。
- 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9.500千円×2.2人=20.900千円

5 事業説明

(1) 事業内容

ア 地籍調査事業

116.115千円

地籍調査事業を実施する市町村へ補助金を交付する(事業費3/4)。

川越市ほか10市町で計5.31 k ㎡を実施

イ 水源林重点対策地籍調査事業

42.120千円

水源地域において、地籍調査を実施する市町村へ補助金を交付する(事業費3/4)。

秩父市ほか2市町で計1.50 k ㎡を実施

ウ 連絡調整等事務費

1.360千円

市町村が行う地籍調査事業について、都道府県が行う地籍調査の検査、指導等に要する経費 工程検査14市町×2回=28回、国会議・研修会出席、市町村担当者会議の開催(2回)

工 (公社)全国国土調査協会等負担金

88千円

講習会参加、積算基準等の技術支援、会員間の情報交換を目的として協会活動に参加する。

(2) 事業計画

国庫補助を活用しながら計画的に事業を実施する。

- (3) 事業効果(平成24年度末時点)
 - ア 昭和27年度から調査を開始し、県内39市町において 996 k mを実施。土地区画整理事業等により国土調 査法の指定を受けた面積を加えると、調査済面積は 1.073 k m²
 - イ 進捗率は、30%で全国28位(全国50%)。関東地方では、 茨城県(66%)、群馬県(36%)に次いで、第3位

事業量 決算額 実施市町村数

平成22年度実績 4.67km 116,497千円 14 平成23年度実績 3.69km 93,001千円 13

平成24年度実績 5.76km 138,106千円 14

予算額		財 源 内 訳							***
		国庫支出金	繰入金					一般財源	前年との 対比
決定額	159,683	106,170	9,126					44,387	5,490
前年額	154,193	102,506	7,670					44,017	